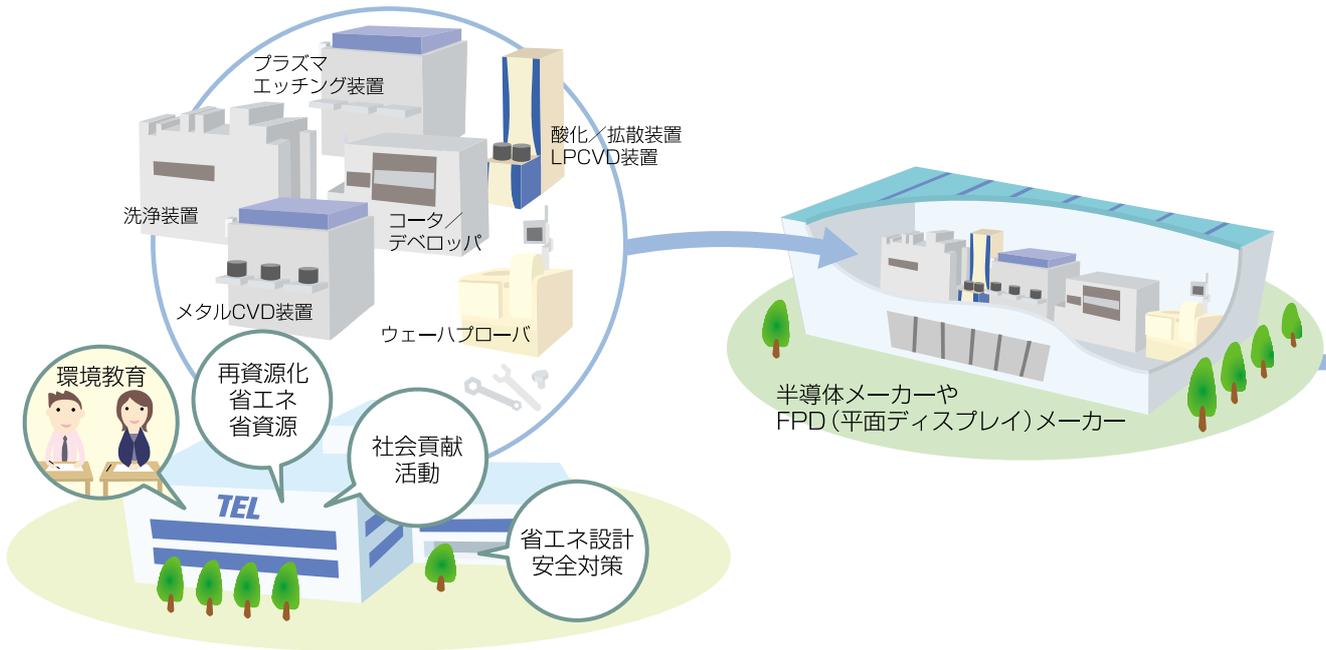


東京エレクトロンと社会

東京エレクトロンは、地球環境や社会の動向をより多くの人々に共有していただくための基盤整備に貢献しています。

東京エレクトロンと社会



東京エレクトロンと社会

東京エレクトロンは半導体製造装置を半導体メーカーに供給することにより、より集積度が高く、高性能な半導体の生産を支援し、情報通信技術の世界的な進歩にも貢献しています。

では情報通信技術の進歩は環境にどのような影響を与えるのでしょうか。例えば、半導体の進歩によって、大量にエネルギーを必要としていた工業用機械や家庭電気製品の消費電力を大幅に削減することができました。また、情報通信技術を有効に使うことによって、これまで片道しか貨物を積まずに走っていたトラックが、往路、復路とも貨物をきちんと積み、無駄のない運行ができるようになります。通信の充実によって、在宅勤務が普及し、人々の無駄な移動が減るかもしれません。また、パソコンやイ

ンターネットなどが普及し、また極めて安価になることで、世界中で、人々が高度な情報を共有できるようになります。

今後、地球環境の保全のためには、環境や社会の動向について、すべての人々が正確な知識を共有することが不可欠です。そして、その基盤づくりに、情報通信技術は欠かせない要素なのです。当社はこれからもこのような環境保全の基盤整備に大きく貢献していきたいと考えています。

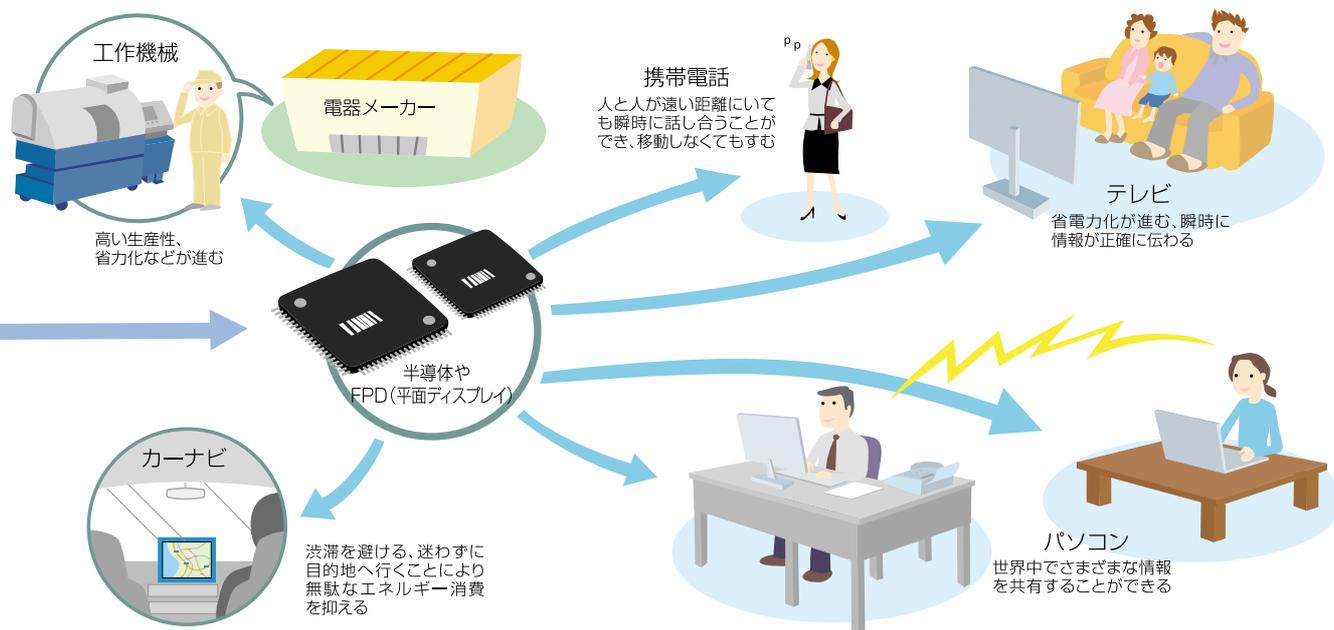
一方、当社の工場では、製品の生産過程で少なからず環境負荷が発生しています。この環境負荷を少しでも減らすために、「省資源」「省エネルギー」「再資源化」、そして「社員やお客様の安全の確保」をきめ細かに実施し、自らの環境負荷低減を推し進めています。

洗浄装置:ウェーハについた埃や微粒子などを洗浄する装置。純水や酸などを使用する。

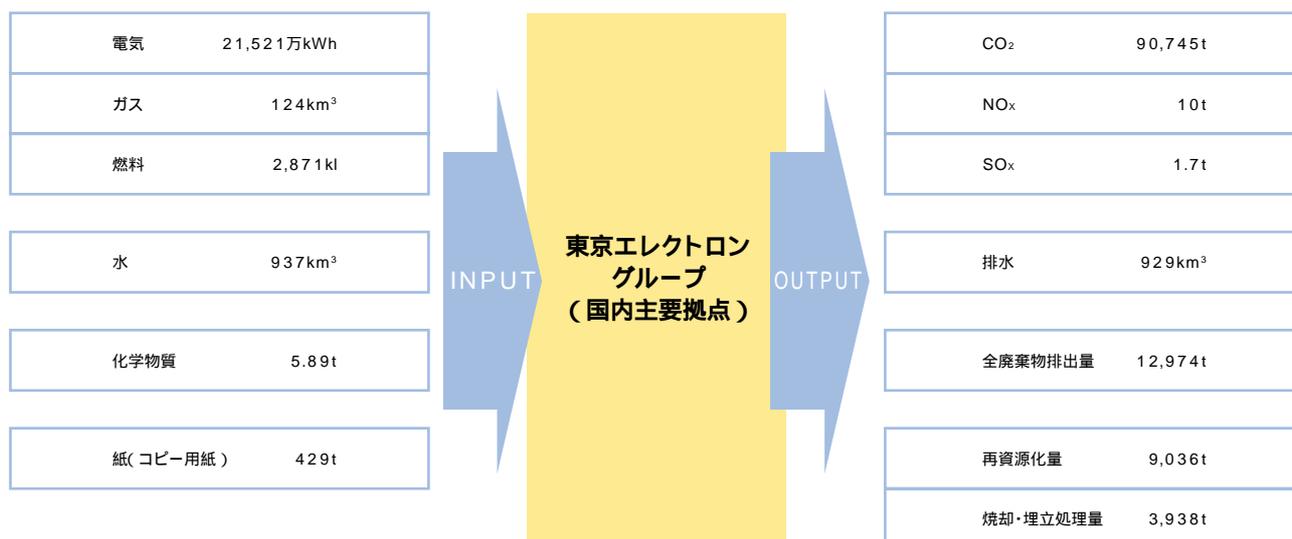
酸化/拡散装置・LPCVD装置:ウェーハの表面に酸素(O₂)や窒素(N₂)を結びつけて、酸化膜や窒化膜などを高温でつくる装置。

メタルCVD装置:ウェーハ上に金属の配線を形成する装置。CVDは蒸気やガスを化学反応によってウェーハ上に堆積させること。

高度情報化を通して社会の環境負荷低減に貢献しています



東京エレクトロングループの物質フロー



コータ / デベロッパ: フォトリソと呼ばれる感光材をウェーハ上に均一に塗って乾かし、露光されたウェーハを現像する装置。

プラズマエッチング装置: プラズマを用いてウェーハ上の特定部分だけを化学腐食(エッチング)させる装置。

ウェーハプローバ: でき上がったウェーハにできた一つひとつの回路を検査する装置。